

## 平成30年度大阪エコ農産物の残留農薬分析結果について（6月実施分）

大阪府環境農林水産部農政室推進課

### 1 目的

大阪エコ農産物の安全・安心の確保に向け、農薬の使用状況と残留農薬を調査し、生産者に対して農薬の適正使用の指導を行う。

### 2 分析期間

平成30年6月4日～6月6日

### 3 分析農薬の種類 50農薬

### 4 検査機関

地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

### 5 分析結果

4種類の作物について、計5検体調査を行いました。

食品衛生法に基づく残留基準値を超える検体はありませんでした。

表 分析結果

作物の種類	エコ栽培基準 (農薬上限使用延成分 回数)	分 析 検体数	分析結果				
			農薬が検出 された検体 数	検出された農薬 の成分名	残留濃度 (ppm)	残留 基準値 (ppm)	
じゃがいも	0	1	0	—	—	—	
さやいんげん	8	1	0	—	—	—	
ほうれんそう (露地)	3	1	0	—	—	—	
トマト	検体a：10 (栽培期間7ヶ月) 検体b：15 (栽培期間10ヶ月)	2	1	検体b (*1)	イプロジオン	0.06	5.0

\*1 農薬取締法、食品衛生法、エコ農産物の栽培基準のいずれにおいても問題ありません。

トマトで検出されたイプロジオンは、トマトに登録があり、残留基準値を下回っているため食品としても問題はありません。